

2019年5月23日
株式会社三菱UFJ銀行

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（JRTT）が発行する
アジア初の「CBI プログラム認証付きサステナビリティボンド」への投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ}三毛 ^{かねつぐ}兼承、以下 当行）は、今般、2019年5月に発行される独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するCBI認証付きサステナビリティボンド（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。

本債券は、複数の国際基準^{*1}に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、環境改善効果については、DNV GLによる評価に加え厳格な国際基準を設けるClimate Bonds Initiative（CBI：低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

また、本債券の発行により調達した資金が充当される事業は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）^{*2}の達成にも貢献するものです。

当行は、社会的課題や環境問題の解決に繋がる事業、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく、社会的使命・役割を果たしてまいります。

※1 気候ボンド標準2.1版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2018年国際資本市場協会 ICMA）等

※2 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲット

以上